



内部中の生徒の良さ

四日市市立内部中学校 第 5 号

新年度が始まり、早くも1か月が過ぎました。1年生は学校生活に少しずつ慣れてきたように感じます。2・3年生はそれぞれ進級し、姿や行動が随分としっかりとしており、逞しく感じています。

4月19日（火）に、認証式を行いました。コロナウイルスの感染拡大防止のため、2・3年生だけが体育館に入り、各学級役員と各専門委員長の認証と活動提案を行いました。1年生は各教室にてその様子をZOOMで視聴しましたが、可能であれば先輩の姿を直接見せてあげたかった（見て欲しかった）です。



整列をする様子や、生徒会執行部が運営する様子、会長の挨拶や各委員長が話す様子、呼名に応じて返事をして立つ姿等に、成長を感じるとともに、内部中学校の生徒の良さを感じました。

校長からは、「内部中学校のすべての生徒が気持ちよくやりがいを持ち、有意義に学校生活を過ごせるよう、各委員会等で工夫したり新しい取り組みを立案したりして、生徒たち自らの思いや行動で、さらに良い学校となるよう、具体的に取り組んでいってほしいです。学校の伝統や良い雰囲気は、生徒のみなさんでつくり上げるものです。」と話しました。

部活動集会の様子

4月28日（木）に、部活動集会を行いました。これで1年生は正式入部となります。部活動毎に各教室に集まり、自己紹介をしたりしながら、全学年で交流をしました。1年生は緊張する様子が見られましたが、先輩たちが優しく声をかけていました。年間活動計画の説明や、練習メニューの紹介があり、1年生も今後の活動に見通しが持て



たことと思います。生徒たちは部活動での3年間を通して、大人ではなし得ることができない、信じられないくらい様々な技術や精神力等を身に付けます。一つのことに打ち込むことの大切さも知ります。そして何よりも、仲間と協力して取り組むことの大切さを学びます。どの部活動も、やりがいのある有意義なものとなることを、期待しています。

健康診断等の意義

新年度になると学校では、発育測定をはじめ、様々な健康診断が行われます。これらは、生徒のみなさんが、順調に成長しているか、病気等にかかっていないかを調べるための大切な学校行事です。3年生（8日）、1・2年生（11日）の発育測定に始まり、14日（木）に耳鼻科検診、18日（月）と5月2日（月）には内科検診、21日（木）には尿検査を実施しました。5月10日（火）と11日（水）には、歯科検診を実施します。



学校における健康診断は、保健を管理する上でとても大切な学校行事です。ただ、学校では病院のように一人ひとりを丁寧に診ていただくことができないので、病気や異常がないかを見る「スクリーニング」としての位置づけになっています。したがって、気になる箇所が見つかった場合は、学校からお知らせをして、病院等で再検査を行うという方法をとっています。

健康診断を単なる健康管理として終わらせるのではなく、生徒たち自身が健康について学ぶ機会としたいと考えています。保護者の皆さまにも、お子さまの成長を感じていただき、必要があればお子さまの生活習慣、家庭

全体の生活習慣を見直す機会として、ぜひ活用していただければと思います。

検診後に校医の先生より「生徒たちが静かに待てており、スムーズに検診ができた。毎年、内部中はマナーが良い。」とのお言葉をいただきました。さすが内部中生です。

みえスタディ・チェックの実施

4月28日（木）に2年生が、5月2日（月）に1年生が、みえスタディ・チェックを実施しました。今年度からは、タブレット端末を利用したテスト（CBT）となりましたが、生徒たちは適切に対応していました。一部、機器の作動がうまくいかない状況もありましたので、県教委等へ改善をお願いしました、今後は、こうした形でのテスト等が主流になっていくことでしょう。



コロナウイルス感染症への対応

現在、市内の各小中学校において、感染者や濃厚接触者の報告があるために、学級閉鎖等の措置がとられている状況があります。教育活動も様々なことに配慮しながら行う必要があります。例えば、できるだけ前を向いての授業を基本とします。本来は生徒たちが互いに対話し、学びを深めていくことはとても大切なことです。ので、学級全体での意見のやりとりは大切にしたいと思います。昼食は全員が前を向いて会話をしないで食べます。全校生徒が一斉下校する日には、学年別に時差下校を行います。他にも様々なことに留意していきます。

大変な状況が続きますが、教育活動については、みなさんの『知恵』と『思いやり』で諸課題を解決し、折り合いをつけながら、適切かつ誠実に取り組んでいきたいと思っています。